



しみずっこのオリンピック

9月25日（土）に清水小学校校庭で運動会を行いました。感染防止対策として人数を制限しての開催でしたが、保護者の方々にご理解・ご協力をいただき思い出に残る1日となりました。

今年度のテーマは「オリンピック」です。夏休みが明け、おうちの人とオリンピックを応援していた子どもたちとの会話で「どんなことをしていたかな?」「みんなも、やってみたいものはある?」とイメージをふくらませながら、練習を重ねてきました。

当日の朝は小雨が降っていましたが、子どもたちが元気いっぱい入場すると・・・雲に隠れていた太陽が顔を出してくれました。『オリンピックマーチ』に合わせ、旗を振って行進です。一人一人が描いた国旗の絵の裏面には、各競技の選手になりきった子どもたちが！



オリンピックの始まりは聖火リレーです。2人1組でトーチを持って、聖火を運びます。落とさないように、息を合わせて走る子どもたちの表情は真剣そのものです。（中にはとっても慎重派のペアもいました。）どちらのチームも無事、聖火台に火を灯すことができました！



聖火リレーの次は、かけっこです。初めて運動会を経験する年少児は、はじめはまっすぐ走ることも難しかったのですが、繰り返し練習を重ねるうちに「もっと速く走りたい」という気持ちをもてるようになりました。年長児は昨年の経験もあり、しっかりと走る姿が見られました。おうちの方からの応援も、大きな力になったようです。



個人障害走『めざせ！金メダル！』では、子どもたちがやってみたい“オリンピックの競技”に挑戦しました。波をくぐった後、バランスをとりながらデコボコ道を進み、トンネルを抜けたら・・・カードを引きます。【サッカー】【体操】【陸上】【ウエイトリフティング】の4種類のうち、どの競技が出るかはお楽しみです。



年長児はトンネルがキックバイクに替わり、コースが少し難しくなりましたが、最後まであきらめずに走ることができました。転んでも大丈夫！一人一人の頑張りど、たくましさを感じた場面でした。



年少児のリズム『フレ！フレ！』は応援をテーマにした、元気いっぱいのダンスです。カラフルなりボンやキラキラのポンポンを持って踊り、オリンピックを盛り上げてくれました。歌を口ずさみながら楽しく練習に取り組んできた子どもたち。同じ振り付けのダンスでも、それぞれの個性が光り、とてもかわいらしいダンスでした。



年長児は、昨年から楽しみにしていたバルーンに挑戦しました。「どうしたら上手くふくらむのかな？」「みんなの気持ちを一つにするにはどうしたらいい？」先生と子どもたちがやりとりを重ね、自分たちで掛け声をかけたり、合図を出し合ったりして頑張ってきました。本番は大成功！きれいにふくらませることができました♪「やった～うまくいったね！」子どもたちのキラキラした笑顔が素敵でした。



いよいよ、最後の競技です。年少児は「折り返しリレー」年長児は「トラック（円周）リレー」でした。

年少児は初めて経験するチーム戦でしたが、練習を繰り返すうちに力いっぱい走る気持ちよさを感じ、“競争”の楽しさを感じられるようになりました。

年長児は走り方だけでなく、一人一人の表情からも“本気”が伝わってきました。チームの友達を一生懸命応援する姿も頼もしく、とてもいい勝負となりました。



バトンの渡し方や走る場所など、どうしたら勝てるかを話し合ってきました。一人一人、練習を始めた頃とは見違えるようなしっかりとした走りを見せてくれました！！

すべての競技をクリアし、頑張ったオリンピック選手たちにごほうびです！園長先生から『金メダル』をかけていただきました。子どもたちはみんなニコニコと嬉しそうです。聖火台の火も消え、それぞれが旗を持っておうちの方々に見せながら、退場しました。



年長児は、プログラムの進行や体操の係など、全員が役割を担当しました。大勢の前に立ち、マイクを持って話す“進行”が「いちばんどキドキする～」と言っていた子もいましたが、自分の番になると大きな声で張り切って話すことができました。その他にも、競技で使うものの準備や片付けも行い、自分たちで作り上げる満足感を感じられたようです。そんな姿を見ていた年少児も、来年はきっと頼もしい姿を見せてくれることでしょう。友達と一緒に力を合わせる楽しさや、最後まであきらめない気持ちなど、運動会への取り組みの中で子どもたちは様々な経験をしてきました。勝ち負けにかかわらず、全力で頑張る姿をたくさん見せてくれました。運動会当日だけでなく、保護者の方々に頑張りの過程も応援していただいたことで、一人一人が十分に力を発揮することができたのだと思います。オリンピックで大活躍した子どもたちは、これからも挑戦を続けていきます。

